

Real Eye Communicator の開発

ー視野上に計算機オブジェクトを添付するシステムー
光藤雄一(電気通信大学)

見えているモノをアイコンのように取り扱うことができるシステムの開発を行った。たとえば、見えている絵や、電灯などに指をかざす(接触する必要は無い)動作をおこなうだけで、操作することができるようになる。

このため、リモコンよりも直感的に操作できて、スイッチが必要ない環境を作ることができる。操作は、今回は指差しによる操作を提案したが、必ずしも指を利用する必要はなく、さまざまな操作方法に切り替えることができる。このようなシステムは、健常者が利用しても面白いが、特に移動に支障があるユーザに対してやさしい環境を提供することができる。

